

2月の都内経済状況

コンサルティング事業部

項目	天気図	コメント	
現在の景気動向		2月の都内の景気は、一部に弱い動きもみられるが、緩やかに回復している。百貨店の売上は2ヵ月連続で前年を下回り、スーパー、コンビニエンスストアの売上は前年を上回った。乗用車販売、住宅着工と公共投資はそれぞれ2ヵ月連続で前年を下回った。輸出は前年からはほぼ横這いだった。有効求人倍率は2ヵ月ぶりに上昇した。企業倒産件数は4ヵ月連続で減少した。工業生産(1月)は前月から低下した。29年度下期の設備投資は増加見込みだが、経常利益は減益見込みとなっている(法人企業)。	
今後の見通し(3ヵ月)		都内の景気は、引き続き緩やかな回復が期待される。アメリカの政策動向、新興国の景気下振れや金融資本市場の変動、イギリスのEU離脱決定の影響などが今後のリスク要因となっている。	
個人消費費	百貨店売上高		百貨店売上高は、降雪や寒波の影響もあって、前年同月比▲0.8%と2ヵ月連続で前年を下回った(既存店ベース)。主要5品目の動向をみると、身のまわり品、雑貨と家庭用品は前年を上回ったが、衣料品と食料品は前年を下回った。
	スーパー売上高		スーパーの売上高は、前年同月比3.2%増と12ヵ月連続で前年を上回り、増加幅は前月から0.4ポイント広がった(既存店ベース)。野菜相場の上昇で農産物の売上が増加、畜産品も好調だった。
	コンビニ売上(関東)		関東地区のコンビニエンスストア売上高は、前年同月比1.6%増と60ヵ月連続で前年を上回った(全店ベース)。
	乗用車登録台数		乗用車販売台数(軽を含む)は、前年同月比▲3.1%と2ヵ月連続で前年を下回った。車種別では、軽乗用車(同0.7%増)は2ヵ月連続で前年を上回ったが、普通車(同▲2.6%)は2ヵ月連続で、小型車(同▲5.9%)は5ヵ月連続で前年を下回った。
住宅建設		住宅着工戸数は、前年同月比▲22.4%と2ヵ月連続で前年を下回った。利用関係別では、持家(同▲7.7%)、分譲一戸建て(同▲4.5%)、分譲マンション(同▲43.1%)、貸家(同▲18.8%)がいずれも減少した。	
公共投資		公共工事請負金額は、前年同月比▲9.4%と2ヵ月連続で前年を下回った。発注者別では、独立行政法人(同152.9%増)は増加したが、国(同▲36.5%)、東京都(同▲6.7%)、市区町村(同▲50.5%)、地方公社(同▲76.1%)が減少した。	
貿易(東京税関管内)		東京税関管内の輸出額は前年同月比▲0.9%とほぼ横這いながら、16ヵ月ぶりに前年を下回った。主要地域別では、アメリカ向け(同5.0%増)とASEAN向け(同17.9%増)は増加したが、EU向け(同▲6.5%)、中国向け(同▲8.5%)、アジアNIEs向け(同▲3.8%)は減少した。	
設備投資(法人企業)		東京財務事務所「法人企業景気予測調査(1~3月期調査)」によると、都内の法人企業(資本金1千万円以上)の29年度下期の設備投資計画額は、全産業が前年同期比10.6%増、製造業が同9.2%増、非製造業が同11.3%増と、いずれも増加見込みとなっている。	
企業収益(法人企業)		同上調査によると、都内の法人企業(同上)の29年度下期の経常損益は、全産業が前年同期比▲9.3%、製造業が同▲15.8%、非製造業が同▲5.3%と、いずれも減益見込みとなっている。	
労働需給		有効求人倍率(季調値)は2.09倍と前月から0.01ポイント上昇した。有効求人倍率の上昇は2ヵ月ぶり。先行指標とされる新規求人数は前年同月比▲7.1%と2ヵ月連続で前年を下回った。南関東の完全失業率は2.4%で、前月から0.1ポイント低下した。完全失業率の改善は3ヵ月連続。	
企業倒産		企業倒産件数は前年同月比▲32.9%と4ヵ月連続で前年を下回ったが、負債総額は同27.0%増と2ヵ月ぶりに前年を上回った。1~2月累計の倒産件数を業種別に見ると、運輸・郵便業(同250.0%増)は増加したが、建設業(同▲31.0%)、製造業(同▲20.0%)、情報通信業(同▲6.5%)、卸売業(同▲10.7%)、小売業(同▲13.3%)、サービス業(同▲30.6%)などが減少した。	
資金需要(銀行)		銀行の都内向け貸出残高は前年同月比2.2%増と78ヵ月連続で前年を上回り、増加幅は前月から0.6ポイント縮小した。	

工業生産指数(季調値) ()は前年同月比%	工業在庫指数(季調値) ()は前年同月比%	消費者物価指数 ()は前年同月比%	(一〇メモ) 東京の公示地価は5年連続で上昇 国土交通省が発表した、東京都内の地価公示価格(今年1月1日時点)は、全用途平均の変動率が前年比3.4%(前年2.8%)と5年連続で上昇した。用途別でみると、住宅地は2.4%(同1.9%)、商業地は5.4%(同4.7%)、工業地は2.6%(同1.8%)それぞれ上昇した。
11月 95.9 (5.8)	11月 110.6 (▲2.1)	12月 100.9 (1.0)	
12月 98.8 (0.9)	12月 115.6 (▲5.0)	1月 100.8 (1.3)	
1月 94.0 (3.9)	1月 112.6 (▲5.5)	2月 100.8 (1.4)	

*工業生産指数・在庫指数は2010年平均=100、消費者物価指数は2015年平均=100。*工業生産指数・在庫指数の前年同月比は、原数値による。

表は、都内経済の最新のデータを集めた当行独自のものです。なお、お天気マークは当部の判断です。

天気図表示の意味						
	晴れ	晴れ時々曇り	薄曇り	曇り	小雨	雨